

## 令和3年度実績報告

事業名	効果	主な実績内容等
<b>会費の募集</b> 会員の募集・会費納入の推進	会費を納入いただいたことで、白子町住民に直接的・間接的に社会福祉事業を支えてもらっている。 (1世帯500円)	募集期間 10月1日から3ヶ月間 会員総数 2,417件 会費総数 1,208,500円
<b>&lt;地域福祉事業&gt;</b>		
<b>ボランティアセンター運営事業</b> 補助金・会費収入 480,426円 支出総額 480,426円	ボランティアの相談・登録・斡旋などを実施し、新たなボランティアの発掘と育成を図った。例年開催している各種ボランティア入門講座・体験講座はコロナウイルスの観点から中止とした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の促進                          新規ボランティア登録者数 1名                          相談・斡旋 2件</li> <li>・福祉教育の推進                          中学校60,000円 小学校(3校) 各40,000円                          (計180,000円)</li> <li>・ボランティア保険の加入 597名</li> </ul>
<b>地区社会福祉協議会事業</b> 補助金・会費収入 369,000円 共同募金収入 420,000円 支出総額 789,000円  ※関地区社会福祉協議会 379,000円 南白亀地区社会福祉協議会 185,000円 白潟地区社会福祉協議会 225,000円  ・介護予防の取組み	各関係機関と連携して、小域福祉圏を核としてボランティア活動を中心にサロンの普及を図るとともに、広報啓発を行い住民の参加意欲を高めた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止月も多かったが、開催中止の期間は、安否確認のための電話連絡、手紙、訪問等、感染予防に努めながら行うことで参加者の不安軽減につながった。  各地区社会福祉協議会主催により、「友達づくり・安否確認・介護予防」を目的にサロンを実施し、健康に不安がある、各種相談をうけたい、心配がある参加者の情報を受け、解決やサービスに繋げた。	小域福祉圏(関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会) ・関フレンドサロン・夢サロン ・見守り活動・広報発行(年2回) ・スマイルクラブと保育所の交流会助成 ・はがき慰問(年賀状送付) 関47名・南白亀99名・白潟111名 ・アルミ・プルトップの回収 令和3年度実績 29,295円 福祉教育関係 [団体：関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会] [学校：関小学校・南白亀小学校・白潟小学校・白子中学校・茂原高校]  (福祉教育事業内容) ・はがき慰問(年賀状送付)  (福祉教育会議関係) ・福祉教育推進連絡会会議(書面) ・福祉教育プログラム企画部会(書面) ・各地区役員会開催、総会(書面議決)  ・関地区社会福祉協議会サロン (1)開催数16回 (2)延べ参加人数 スタッフ含め313名 ・南白亀地区社会福祉協議会サロン (1)開催数7回 (2)延べ参加人数 スタッフ含め168名 ・白潟地区社会福祉協議会サロン (1)開催数6回 (2)延べ参加人数 スタッフ含め95名

事業名	効果	主な実績内容等
<b>&lt;共同募金配分金事業&gt;</b>		
共同募金活動等の推進	地域福祉活動に不可欠な民間活動の財源確保とともに、広報啓発活動及び地域福祉の積極的な取り組み支援を図った。	赤い羽根募金（10月1日から3ヶ月間） 目標額 2,310,000円 実績額 2,253,506円（達成率97.6%） 件数 2,549件（自治会2,437件 その他112件）
<b>&lt;赤い羽根募金配分金&gt;</b> 配分金収入 2,199,000円 参加費収入 3,600円 支出総額 2,202,600円	主な配分事業：敬老祝賀品・スマイルクラブ助成・調査費・幼児サークル助成・地区社協助成・広報費等	<b>&lt;助成事業&gt;</b> ①地区社会福祉協議会助成（3地区） 420,000円 ②社協広報 325,785円 ③敬老祝賀品 75,816円 ④防災用備品代 908,254円 ⑤スマイルクラブ助成 100,000円 ⑥福祉器具貸し出し 6,000円 ⑦民生委員調査費 137,700円 子育て支援 ⑧ほっぺの会助成（幼児サークル） 20,000円 ⑨少年サッカーイベント助成 30,000円 ⑩子育てサロン助成 177,212円 子育てサロン開催数 9回 延べ参加人数 128人（親子 45組） ⑪事務用消耗品 1,833円  合計額 2,202,600円
<b>歳末たすけあい募金</b> 収入総額 80,000円 支出総額 80,000円	町内各種団体の年末行事への支援を行った。	歳末たすけあい募金（10月1日から3ヶ月間） 目標額 510,000円 実績額 550,580円（達成率104.3%） 件数（自治会：2,420件 その他：10件） ①各種団体支援 障がい者福祉会ふれあい交流会支援 0円 レインボークラブ支援 30,000円 ほっぺの会（幼児サークル）支援 20,000円 ②ボランティア連絡協議会 ゆうあい訪問慰問品配布 支給額 30,000円 ③地域福祉活動助成金（実施地区なし） 0円 ④剰余金 470,580円 合計額 550,580円
<b>&lt;相談事業&gt;</b>		
<b>心配ごと相談事業</b> 会費収入 60,000円 支出総額 56,000円 繰越金 4,000円	住民の日常生活の様々な相談に対し、民生委員児童委員、行政相談委員の協力を得て、相談者に助言したり、適切な機関へ紹介する等問題解決の手助けを行った。また、第2水曜日は人権擁護委員も加わった合同相談を実施し、幅広く問題解決に結び付けた。	相談取扱件数 24件 主な相談内容 財産9件、家族3件、離婚3件、苦情3件、老人福祉・障害者福祉・精神衛生・人権・事故・職業 各1件  弁護士相談 3件
<b>結婚相談事業</b> 受託金収入 24,976円 支出総額 24,976円	相談所を開設し、現在の登録者や結婚について不安をもっている方の相談を行った。	結婚相談員連絡会 2回

事業名	効果	主な実績内容等
<b>&lt;在宅福祉事業&gt;</b>		
<b>給食サービス事業</b> 補助金・会費収入 495,670円 支出総額          495,670円	75歳以上の見守りが必要な一人暮らし高齢者に、ボランティアが調理したお弁当をお届けした。4月中と1月後半から3月まで新型コロナウイルス拡散防止のため弁当調理を見合わせ、事務局により慰問品を配達した。	毎月第2・4金曜日配達（年24回） 登録者数          41名 延配達数          843名
<b>紙おむつ給付事業</b> 補助金・会費収入 1,135,098円 支出総額          1,135,098円	在宅で介護保険制度の要介護4・5の認定等を受けた常時失禁している方へ年4回、紙おむつ等を給付し、在宅介護及び経済的負担の軽減を図った。	支給月  4月・7月・10月・1月（年4回） 給付者数          29～35名 延べ人数          131名
<b>外出支援サービス事業</b> 受託金収入      3,216,303円 支出総額          3,216,303円	単独で公共交通機関を利用できない、概ね65歳以上の高齢者のみの世帯に対し、リフト付きのワゴン車により「居宅から近隣市町村の医療機関・公共機関等へ」の外出支援を行った。	登録者数          24名 利用者延べ人数    761名
<b>外出支援検証事業</b> 受託金収入      1,864,161円 支出総額          1,864,161円	高齢者や身体の不自由な方を町内の医療機関、買い物、停留所等に送迎し、外出の支援をする検証を行った。	登録者数          72名 延べ利用人数      764名 延べ行先件数      1056件
<b>&lt;貸付事業&gt;</b>		
<b>貸付事業</b> 前年度繰越金  1,285,365円 R3 貸付額      109,000円 R3 返済額      99,000円 繰越金          1,275,365円	低所得者世帯へ援護資金を貸し付け、生活援護を図った。	生活援護資金（町）貸付 内 訳 貸付件数：  4件 貸付総額：109,000円 貸付内容：生活保護支給までの生活費 相談延べ件数  22件

事業名	効果	主な実績内容等
<b>千葉県社協貸付事業（事務費）</b> 県受託金収入 83,400円 支出総額 83,400円  <b>千葉県社協貸付事業（臨時特例つなぎ資金事務費）</b> 県受託金収入 2,000円 支出総額 2,000円  <b>千葉県社協貸付事業（コロナ特例資金 事務費）</b> 県受託金収入 419,000円 支出総額 419,000円	低所得者世帯・障害者世帯・高齢者世帯に対して資金の貸付申請の支援、必要な相談支援を行い、その世帯の経済的な自立と生活の安定を図った。  新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活に困窮された世帯に対し生活費等の資金の貸付申請の支援、相談に応じ必要な機関につないだ。	<b>生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金</b> 貸付件数： 2件 貸付種類：緊急小口資金 貸付総額： 200,000円 相談延べ件数 14件  <b>生活福祉資金（コロナ特例）</b> 貸付件数： 77件 貸付種類：緊急小口資金特例貸付 24件 4,700,000円 総合支援資金特例貸付 22件 10,650,000円 総合支援資金特例貸付(延長貸付) 3件 1,650,000円 総合支援資金特例貸付(再貸付) 28件 13,350,000円 貸付総額： 30,350,000円 相談延べ件数 211件
<b>&lt; 日常の生活支援 &gt;</b>		
<b>日常生活自立支援事業</b> 県受託金収入 699,000円 利用料収入 76,800円 支出総額 775,800円	高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不自由な者に対して、福祉サービスの利用に関する援助等を行うことにより、自立した生活が送れるように支援した。	・福祉サービス利用援助事業 ・財産管理サービス ・財産保全サービス ・新規契約1件、解約5件 ・R4.3.31現在利用者5名
<b>&lt; 心身障がい児（者）福祉の推進 &gt;</b>		
介護用品の貸出	リフト付きのワゴン車や車いすを無料で貸し出し、障がいのある方や高齢者の社会参加のための支援を図った。	車椅子 39件 福祉カー 9件
<b>&lt; 児童・母子福祉の推進 &gt;</b>		
交通遺児援護事業（県社協）	義務教育中の交通遺児家庭に対して、図書券や励励金又は奨励金を支給し、経済的援助を図る。	町内の保育所・小中学校の調査を行った。
<b>&lt; 団体各種支援 &gt;</b>		
<b>団体活動助成事業</b> 受託金収入 578,000円 支出総額 578,000円	福祉団体を助成し、活動を支援した。	(1) 民生委員・児童委員協議会 0円 (2) 母子寡婦福祉会 28,000円 (3) 保護司会 62,000円 (4) 遺族会 184,000円 (5) 障がい者福祉会 250,000円 (6) 更生保護女性会 54,000円

事業名	効果	主な実績内容等
<b>&lt;介護保険 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）&gt;</b>		
<b>地域包括支援センター事業</b> 受託金収入 15,229,791円 プラン料収入 1,168,130円 雑収入 3,000円 支出総額 16,400,921円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者及び日常生活総合事業対象者に対して、適切なケアマネジメントを実施し、サービス導入をしたことにより、利用者の生活の質の向上・自立支援・重度化防止へつなげた。</li> <li>・家族関係の多様化・希薄化により相談内容も複雑化している。このような状況の中、関係機関と連携を図り、利用者及び家族の支援に介入できた。</li> <li>・介護支援専門員が、包括的・継続的ケアマネジメントを実践できるように、適切な指導・助言が出来た。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定介護予防支援事業               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 介護予防支援給付管理数 754件</li> </ol> </li> <li>2. 包括的支援事業               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第1号介護予防支援事業 ケアマネジメントAの作成 ケアマネマネジメントA給付管理数 468件</li> <li>(2) 総合相談業務                   <ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数 320件</li> <li>[世帯別相談内訳]</li> <li>独居世帯111件 高齢者世帯101件 8050世帯19件</li> <li>一般世帯81件 その他8件</li> <li>[相談対象者内訳]</li> <li>介護支援専門員38件 サービス事業者4件 医療機関33件</li> <li>施設4件 自立支援機関4件 行政32件</li> <li>民生委員10件 知人10件 家族137件</li> <li>本人38件 その他10件</li> <li>[方法別内訳]</li> <li>電話228件 来所48件 訪問43件 その他1件</li> <li>[相談内容内訳]</li> <li>認知症支援77件 障がい者支援(精神・身体・知的)32件</li> <li>ターミナル支援13件 病院受診支援21件</li> <li>退院・退所支援30件 生活支援37件</li> <li>生活困窮支援14件 生活環境整備支援33件</li> <li>介護福祉サービス184件 施設入所支援38件</li> <li>介護方法2件 訪問依頼・状況確認122件</li> <li>関係機関調整99件 権利擁護・成年後見制度4件</li> <li>消費者被害0件 高齢者虐待(疑いも含む)7件</li> <li>やむを得ない事由による措置2件 苦情全般5件</li> </ul> </li> <li>(3) 権利擁護業務                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の説明や申立てに当たっての関係機関の紹介数 4件</li> <li>→上記のうち市町村申立て事例数 2件</li> <li>・老人福祉施設等への措置の支援 0件</li> <li>・消費者被害の防止</li> <li>→民生・児童委員に対して、千葉県警察が発行する防犯情報のチラシを配布し、消費者被害等の防止啓発をおこなった。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>

事業名	効果	主な実績内容等
		<p>(4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務  [介護支援専門員の意見交換会]  ※コロナの影響により書面にて実施  令和3年4月28日 39事業所へ郵送</p> <p>[地域ケア個別会議]  ・令和3年6月23日 1事例(白子町役場 第5会議室)  参加者：医療介護等の専門職11名・傍聴者1名  ・令和3年9月22日 1事例(ZOOM開催)  参加者：医療介護等の専門職12名・傍聴者なし  ・令和4年1月26日 1事例(ZOOM開催)  参加者：医療介護等の専門職13名・傍聴者なし</p> <p>[事例検討会]  ・令和3年7月28日 2事例  参加居宅介護支援事業所 4事業所  参加者 8名</p> <p>3. 包括的支援事業  (1) 在宅医療・介護連携促進事業  新型コロナウイルス感染拡大に伴い、医療従事者との研修会は計画できず中止。</p> <p>(2) 認知症総合支援事業  [認知症初期集中支援チーム活動]  ・チーム活動介入(対象)事例2件  ・チーム医への相談・報告件数11件</p> <p>[長生郡5町村認知症初期集中支援チーム検討委員会]  ・1回開催 (R4.11.11 長南町役場)</p> <p>[認知症家族会]  ・4回開催 (R3.5.8、R3.7.10、R3.11.13、R4.1.15)  →参加実人数6名</p> <p>[認知症カフェ(オレンジカフェ白子)の開催]  ・令和3年12月15日 関ふれあいセンター  参加者3名 他介護支援専門員4名</p> <p>4. 介護予防・日常生活支援総合事業  [通所Bの運営補助]  ・ふれあい幸民館 月曜日：18回開催 参加実人数12名  金曜日：18回開催 参加実人数12名  ・脳のトレーニング教室 木曜日：24回開催 参加実人数21名</p> <p>[ケアマネジメントCの作成]  ※通所B利用対象者に対するケアプラン作成数  ・ふれあい幸民館 24件  ・脳のトレーニング教室 18件</p>

事業名	効果	主な実績内容等
		5.その他 介護度重度化防止推進員支援 [介護予防出張教室] ・8箇所63回実施(現任推進員数6名) ・参加実人数41名(延べ人数291名)
<b>&lt;介護保険 総合事業 一般介護予防事業&gt;</b>		
<b>いきいき健口教室事業</b> 受託金収入 10,788円 支出総額 10,788円	口腔機能訓練を実施し、口周りの筋力が強化され唾液が出るようになり呑み込みが良くなることを理解してもらうことができた。また自宅でも継続できる口腔機能訓練の実施方法等も周知できた。	開催日:令和4年1月19日 参加数:参加者数5名
<b>介護支援サポーター事業</b> 受託金収入 44,288円 支出総額 44,288円	高齢者が介護支援サポーター活動を通して積極的に社会参加し、地域貢献することを奨励するとともに、高齢者自らの自発的な介護予防を促進した。	・合計登録者17名 ・サポーター活動延べ時間507時間 ・ポイント換金者13名 (千円:2名、2千円:5名、3千円:2名、5千円:4名)
<b>&lt;介護保険 包括的支援事業(社会保障充実分)&gt;</b>		
<b>生活支援体制整備事業</b> 受託金収入 1,972,226円 支出総額 1,972,226円	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行った。	(1) 協議体開催 4回 出席者:白子町役場健康福祉課介護保険係 白子町地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 主な協議内容:①たすけあいチームの自治会への事業展開について ②社会資源マップの作成について ③移動販売の概要について  (2) 生活支援コーディネーターの活動紹介 対象:おしゃべりサロン・夢サロン・関フレンドサロン 健康倶楽部参加者  (3) 地域ケア会議への出席 2回  (4) 移動販売車の協議・説明 対象自治会:浜宿東自治会・関南自治会・幸治東自治会 北高根西自治会・中川岸自治会  (5) たすけあいチームの案内・移動販売車の情報提供 対象自治会:32自治会  (6) 移動販売車の開始 対象自治会:浜宿東自治会・幸治東自治会 対象者:地域住民